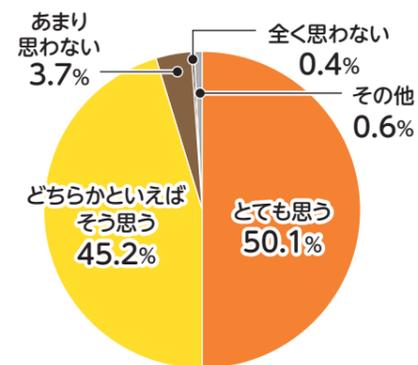


# 95.3%の保護者が「深夜の子連れ飲食」を問題視

深夜の子連れ飲食を制限する施策について、市のこども青少年課が市内の保育所に通う未就学児や小学校(2、4、6年)、中学生の子を持つ市内在住の保護者を対象にアンケートを実施しました。調査では、夜10時～翌午前4時までの間を「深夜」と定義。平成30年5月～9月の間5971人に配布し2840人が回答しました(回答率47.5%)。(年齢層：20代以下…328人/30代…1331人/40代…1044人/50代以上…88人/その他…49人)

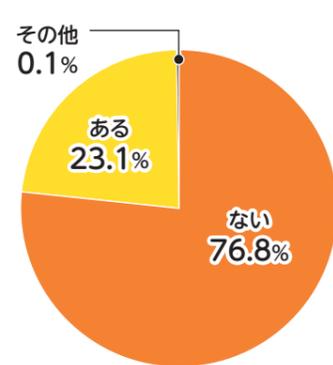


## Q1 深夜の子連れ飲食は問題だと思うか



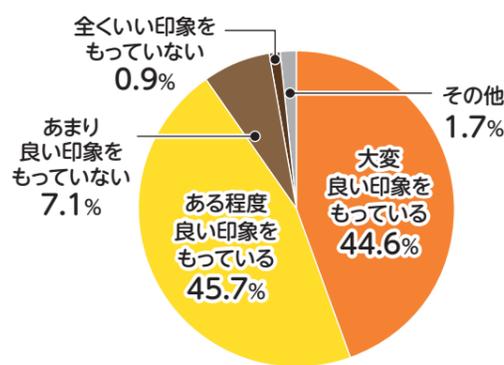
ほとんどの人が深夜帯に子どもと居酒屋などの飲食店に立ち入ることを問題視している。回答者の約7割の人が夜10時以降に飲食店で子連れの人を見たことがあるとの結果も。

## Q2 深夜の子連れ飲食を行ったことがあるか



市民の約2割が深夜の子連れ飲食を実際に行ったことがあると回答。親族の集まりやお祝い等があった時は仕方ない、といった意見も。

## Q3 深夜の子連れ飲食の制限についてどんな印象をもっているか



ほとんどの人が、深夜の子連れ飲食の制限をする取り組みを市が行うことについて良い印象を持っている。問題だとは感じているが、市として制限することには疑問を感じている人も。

アンケート結果を掲載しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。▶



第3回円卓会議(神森中学校)

開催区分	開催日	参加人数
第1回 浦添中学校区	5月29日(水)	43人
第2回 仲西中学校区	7月11日(木)	32人
第3回 神森中学校区	7月31日(水)	45人
第4回 浦西中学校区	8月27日(火)	9人
第5回 港川中学校区	9月6日(金)	24人
第6回 事業所(飲食業)	9月30日(月)	8事業所

### 深夜の子連れ飲食の制限 円卓会議

今年5月から9月にかけて、市内5つの中学校区ごとに市民が意見を交わす円卓会議が行われました。一般市民のほか、民生委員や自治会、居酒屋などの事業所関係者など多くの人が集まり、「深夜の子連れ飲食」について議論を交わしました。

議論は、①子どもへの影響②許される時間帯③対応方法を中心に、子どもの睡眠不足を問題視する声や、共働き社会で食事を作る時間がないのでやむを得ないという声、お祝いなどの特別な日ならよいのではないかなど様々な意見が寄せられました。

これまでの円卓会議の報告を掲載しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



みんなで考えよう

# 「深夜の子連れ飲食の制限」にあなたは賛成? 反対?

市では、将来の浦添市を支えていく子どもの幸せを最優先にする「てだこキッズファースト」を宣言して、その一環として「深夜の子連れ飲食を制限する」という施策を掲げています。今回の特集では深夜に子どもを連れて飲食店に行くことはありなのか?なしなのか?市民の声や、その背景について紹介します。

深夜の子連れ飲食について、きちんと向き合って考えてみませんか。

浦添市教育委員会 指導部長 平良亮

子どもたちが健やかに成長していくためには、「よく身体を動かし、よく食べ、よく寝る」という成長期の子どものもとに当たり前が必要不可欠な生活習慣を確立していくことが何より重要です。沖縄県ではこれまで「夜型社会」ということが課題にあげられており、実際に居酒屋に行くことや夜遅くまで小さな子どもが大人の飲み会に付き合われたり、夜遅くのコンビニなどでの買い物に付き合わされたりしている場面に出会うことが度々あります。

多くの人が「これってどうなんだろう?」と感じながらも、ずっとそのままにしてきました。個々の家庭には様々な背景があり、それぞれにいろいろな事情があることも十分に理解し配慮した上で、「深夜の子連れ飲食」の実態について「そろそろきちんと向き合って考えてみませんか?」ということで、市内の保育所や小中学校保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。

去る5月からは市内5中学校区や事業所単位での「円卓会議」も実施し、保護者、地域自治会や関係機関の人たち

も交えてそれぞれの立場からの考えや意見を出し合い、互いに共有してきました。市民一人一人が大人の都合による子どもへの教育的配慮をどうするのか。子どもたちの将来のことを考え、課題を共有し、解決のために行動を起こすことの意味は大きいものと考えます。

今後は、これまでに出てきた意見等を踏まえ、これから開催予定の「大円卓会議」の場において、さらに議論を深めるとともに、浦添市のこれからの方向性を確認し、「子どもの幸福を最優先する」ためにどうあるべきかという視点からさらに取り組みを進めていきたいと思えます。



子どもたちの笑顔あふれるまちづくりを進めるために、私たち自身が一人一人の「大人」として「キッズファースト(子どもの幸福を最優先する)」という自覚を確認し、大きな声で「子どもたちの笑顔あふれるまちづくりの推進」を宣言するという趣旨のもと、浦添市が平成27年8月9日に宣言しました。

